

## 基本動詞（多義動詞）の理解に役立つ視聴覚コンテンツ

—ショートアニメを中心に—

今村泰也（国立国語研究所）・高原真理（岡山大学）・中溝朋子（山口大学）・  
ブラシャント パルデシ（国立国語研究所）・＜共同研究者＞ 夫明美（大阪女学院大学）

### 1. はじめに：「基本動詞ハンドブック」について

「基本動詞ハンドブック」（以下，ハンドブック）は日本語教師と上級日本語学習者が基本動詞の理解を深めることができるように，基本動詞の多義的な意味の広がりや図解なども用いてわかりやすく解説したオンラインツールである（<http://verbhandbook.ninjal.ac.jp/>）。2016年8月現在，75見出しが公開されており，基本動詞の体系的かつ包括的な学習・教育のために表記，活用，アクセント，文型，文法情報，例文，コロケーション，誤用解説，関連語，慣用表現などが収録されている（ハンドブックの詳細はパルデシ・今村（2015）を参照）。

### 2. Web の特性を活かしたコンテンツ

基本動詞の意味と用法については，森田良行（1989）『基礎日本語辞典』や小泉保ほか編（1989）『日本語基本動詞用法辞典』などの優れた先行研究があるが，ハンドブックはネット時代に即応し，誰もがアクセスでき，Web の特性をフル活用して作られている。具体的に言うと，①見出し語の中核的な意味を図示した「コアイメージ」，②見出し語の中心義から派生義への意味拡張を視覚化した「多義ネットワーク」，③見出し語の活用形とアクセント情報（下がり目の記号と音声付き） ，④さまざまな年齢層の男女の音声が付いた例文，⑤見出し語の意味の理解と記憶を促進するための「ショートアニメ」などの視聴覚コンテンツのほか，⑥コーパスの用例，⑦コロケーション，⑧関連語，⑨解説等を含み，類例のない辞典になっている（従来の辞典よりも多くの情報と機能を備えていることから，「ハンドブック」という呼称を用いている）。

### 3. ショートアニメの制作

ショートアニメとは，紙芝居のような複数枚のイラストに音声（ナレーション or 会話）と字幕を付けたもので，当該の語義（特に派生義）の意味と用法を使用場面と結びつけて理解・定着させることを意図して作られている（現在，約40のショートアニメが公開されている）。ショートアニメのトピックは多岐にわたり，動詞の用法のみならず，日本の社会・文化・習慣なども理解できるよう工夫されている。ショートアニメの制作には以下の工程がある。

スクリプト（次ページ）作成⇒イラスト制作⇒音声の録音・編集⇒結合作業

ハンドブックの視聴覚コンテンツは発表者と共同研究者のほか，地域ボランティアや美術系の学生の共同作業の成果であり，共同研究・開発のモデルとなるものである。

引用文献：ブラシャント・パルデシ，今村泰也（2015）「日本語と諸言語の対照研究から見えてくるもの—プロジェクトの理論的・応用的な研究成果—」『国語研プロジェクトレビュー』6(2): 35-46.

謝辞：本研究はJSPS 科研費 15K01076 の助成を受けたものである。

「行く」イラストスクリプト

(スクリプト：中溝朋子，イラスト：福王寺葉)

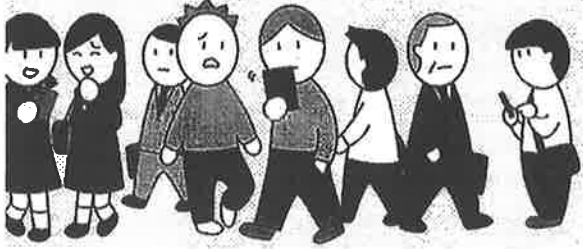
語義9 関心の向き先 (関心が特定のものに向く)

ハンドブックの語義

トピック：歩きスマホ

ねらい：歩きスマホの危険性について知る

イラストのイメージを具体的に指示

No	本文	イラストレーターへの指示
1	<p>街では、世代を問わず、スマホ (スマートフォン) を見ながら歩く「歩きスマホ」をする人がたくさん見られます。</p> <p>※音声は「スマホ」、字幕には(スマートフォン) も表示。</p> <p>語彙・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代を問わず</li> <li>・スマホ (スマートフォン)</li> <li>・歩きスマホ</li> </ul>	<p>街中で行き交う人、待合せの人、ベンチに座る人など複数の人がスマホを見ている風景。特に歩く人を目立たせて。</p> <p>《完成したイラスト》</p> 
2	<p>「歩きスマホ」は、スマホの画面ばかりに視線が<u>行</u>って、周りに注意が<u>行</u>かないので、大変危険です。</p> <p>語彙・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面</li> <li>・視線</li> </ul>	<p>ホームすれすれに歩いている人と、(もし2場面が可能なら) 十字路で正面に向かって出てくる自転車と、スマホを見ながら (自転車に気づかず) その前を横切ろうとする人。前者はホームにいる他の人、後者は自転車に乗っている人がびっくりした表情。</p>
3	<p>自分が事故に遭う可能性ばかりでなく、他の人にけがをさせる可能性もありますから、「歩きスマホ」は絶対にやめましょう。</p> <p>語彙・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故に遭う</li> <li>・可能性</li> <li>・けが (ケガ/怪我)</li> </ul>	<p>ホームの人は落下するところ、自転車はぶつかった後の場面。画面中に「歩きスマホは危険です」のシンボルやテロップがあると良い。</p>

当該の見出し・語義の例

導入される語彙と表現